



第3期まち・ひと・しごと創生 大分県総合戦略案について

計画の位置づけ

- ・大分県長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024」の中から、地方創生に関連する施策を集中的・重点的に推進するための計画
- ・まち・ひと・しごと創生法第9条に基づく、大分県の地方創生に関する施策についての基本的な計画

計画の基本的な考え方

人口の現状及び将来の見通しに加え、第2期総合戦略の成果や課題を踏まえ、第3期総合戦略では、特にこの5年間で早急に取り組む必要がある重点課題を以下のとおり設定の上、政策体系に沿って対策を展開

重点課題①

キャリア形成や暮らしの満足度の向上による若者・女性の呼び込みと定着

重点課題②

外国人など多様な人材の活躍・定着による担い手の確保

重点課題③

デジタル技術等を活用した地域の持続的発展

政策体系

第2期戦略の「ひと」、「しごと」、「まち」の政策分野を充実させつつ新たに「ひとやものの流れ」を加えた、4つの政策体系で構築



政策体系Ⅰ 【ひと】すべての人が輝き、一人ひとりの希望がかなうおおいた（6政策17施策19KPI）

- 1 すべての子どもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくり
- 2 変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造
- 3 健康長寿社会の構築と安心できる医療・介護の提供
- 4 障がい者が心豊かに暮らし働ける社会づくり
- 5 女性が輝き活躍できる社会づくり
- 6 すべての人の人権が尊重される社会づくり

政策体系Ⅱ 【しごと】力強い産業が育ち、働きがいのある仕事生まれるおおいた（6政策11施策11KPI）

- 1 企業立地・産業集積のための立地基盤づくり
- 2 自ら考え・動き・みんなで実現する元気な農林水産業
- 3 力強く元気な経済を創出する産業の振興
- 4 多様な人材が活躍できる環境づくりと産業を支える人づくり
- 5 大学等との連携による人材の育成・定着
- 6 DXの推進や先端技術の活用による新産業の育成と地域課題の解決

政策体系Ⅲ 【まち】暮らしの豊かさを実感でき、魅力的な地域であふれるおおいた（6政策21施策22KPI）

- 1 災害に強い県土づくりと危機管理の強化
- 2 魅力ある持続可能な地域づくりの推進
- 3 互いに支え合う社会の構築
- 4 持続可能な環境づくりの推進
- 5 誰もが安全・安心に暮らせる社会づくり
- 6 芸術文化やスポーツの振興による地域の元気づくり

政策体系Ⅳ 【ひとやものの流れ】新しい人や物の流れが広がり、つながるおおいた（6政策10施策12KPI）

- 1 未来へつながる広域交通ネットワークの充実
- 2 移住・定住の促進による地域の未来を担う人材の確保
- 3 企業立地・産業集積の促進
- 4 様々な産業における国内外の販路開拓・拡大の支援
- 5 地域の特色を活かしたツーリズムの推進と観光産業の振興
- 6 外国人に選ばれ、共生できる大分県づくり

計画期間

令和7年度～11年度（5年間）

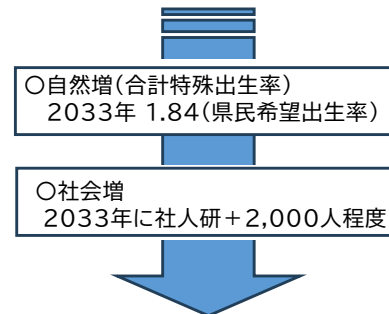
推進体制

大分県長期総合計画のPDCAサイクルと一体的に効果検証

次期人口ビジョン案

【大分県の将来人口推計】
2025年：107.8万人
2035年：98.4万人
2060年：74.8万人

出典：「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」
国立社会保障・人口問題研究所



重点課題への対策により、
2035年に100万人維持を目指す

政策体系 I 【ひと】すべての人が輝き、一人ひとりの希望がかなうおおいた

基本的方向

若年層が結婚、妊娠・出産、子育てをポジティブに捉え、こどもを生み育てていく希望が持てる社会づくりや、生涯を通じ心身ともに健康で活力あふれる人生を送る健康長寿の社会づくりなど、自然減の急激な流れを緩和するための環境を整えます。
また、高齢者や障がい者など多様な人材が活躍でき、こどもたちが夢や希望に向かって意欲的に挑戦できるおおいたを目指します。

数値目標

- 「子育て満足度日本一」総合順位 令和11年度目標 1位
- 健康寿命全国順位 令和11年度目標 1位
- 「障がい者活躍日本一」総合順位 令和11年度目標 1位

主な取組の例

1 すべてのこどもが健やかに生まれ育つ 温かい社会づくり

- <結婚・妊娠・出産> **若者・女性**
- 「OITAえんむす部 出会いサポートセンター」の機能強化
 - 産後ケアなど妊産婦への支援拡充
- <子育て> **若者・女性 担い手確保**
- 保育人材や放課後児童支援員の確保・育成
 - 男性の家事・育児促進に向けた情報発信の強化
- <こどもまんなか> **若者・女性**
- 民間との連携などによる魅力ある公園づくりの推進



2 変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む 「教育県大分」の創造

- <教育> **若者・女性 担い手確保 持続的発展**
- 県立高校における遠隔教育大分モデルの確立や義務教育段階における遠隔授業の展開
 - 各学校段階に応じたキャリア教育の推進
 - 理工系人材育成等の特色ある私立学校づくりの支援



3 健康長寿社会の構築と安心できる 医療・介護の提供

- <健康長寿> **持続的発展**
- 健康アプリの活用や都市公園の園路等の充実による運動習慣の定着支援
 - 指標を活用した市町村の健康課題の解決支援
- <医療・介護> **持続的発展**
- 救急安心センター（#7119）など地域における救急医療提供体制の確保
 - ICTを活用した業務効率化等による介護DXの推進



離床センサーと接続した見守りシステム

4 障がい者が心豊かに暮らし働ける社会づくり

- <障がい者> **担い手確保**
- 障がい者雇用アドバイザーによる雇用促進、職場定着の推進
 - 障がいに対する県民理解の促進、合理的配慮の提供に係る企業・団体への啓発
 - ICT機器の使い方体験会の開催等による情報アクセシビリティの向上



5 女性が輝き活躍できる社会づくり

- <女性> **若者・女性**
- 経済団体と連携した機運醸成やセミナー等の開催による意識改革
 - 女性活躍応援企業等への支援など女性に魅力的な職場づくりの推進
 - 啓発動画などを活用した固定的な性別役割分担意識の解消



6 すべての人の人権が尊重される社会づくり

- <人権> **若者・女性**
- 人権課題に対する教育・啓発の推進など多様な価値観を認めあう社会づくりの推進
 - パートナーシップ宣誓制度の周知・啓発やSNS相談窓口の開設、交流の場づくりなど、性的少数者への支援強化
 - プライバシーの侵害や誹謗中傷など、インターネットやAIによる人権侵害への対応



政策体系 II 【しごと】力強い産業が育ち、働きがいのある仕事生まれるおおいた

基本的方向

多様で魅力的な企業の誘致に向けた立地基盤の整備や農林水産業の成長産業化、様々な分野における人材の確保及び人材の育成・定着等を進め、「稼ぐ」力や若者や女性にとって働きがいのある仕事生まれるおおいたを目指します。

数値目標

- 15～69歳の就業者数 令和11年度目標 482,400人
- 企業誘致件数 令和11年度目標 50件
- 経営拡大を行った農林水産業の中核的経営体数 令和11年度目標 222経営体
- 県内大学等卒業者の県内就職率 令和11年度目標 47.0%

主な取組の例

1 企業立地・産業集積のための立地基盤づくり

<立地基盤> 若者・女性 担い手確保

■ 産業適地の掘り起こし、地域別の誘致方針の策定

■ 市町村等が行う新たな産業団地整備への支援強化

■ 電力、工業用水の安定供給体制の強化

■ 道路や港湾など物流ネットワークの機能強化（中九州横断道路等）



2 自ら考え・動き・みんなで実現する元気な農林水産業

<農業> 担い手確保 持続的発展

■ 高収益な園芸品目の産地拡大、畜産の技術向上や増頭



<林業> 担い手確保 持続的発展

■ 伐期を迎えた大径材の安定供給や販路拡大、早生樹による再生林の加速

<水産業> 担い手確保 持続的発展

■ 養殖ブリの周年出荷やかぼす養殖魚の生産拡大、効果的な種苗放流等による漁船漁業の推進

3 力強く元気な経済を創出する産業の振興

<中小企業> 若者・女性 担い手確保

■ 市町村と連携した事業承継診断の前倒し実施等を通じた事業承継支援の強化

■ 中小企業・小規模事業者の後継者（アトツギ）同士が切磋琢磨するコミュニティの形成支援



<賃上げ> 若者・女性 担い手確保

■ 持続的な賃上げに向けた中小企業等への後押し

<商業・サービス業> 持続的発展

■ 観光と一体となった地域商業の活性化への支援

4 多様な人材が活躍できる環境づくりと産業を支える人づくり

<外国人材> 担い手確保

■ 外国人材が安心して働くことができる環境等の整備

<若者> 若者・女性

■ 高校生向け合同企業説明会の開催等による若年者の県内就職促進



<働き方改革> 担い手確保

■ テレワークなど多様で柔軟な働き方の推進や省力化につながるDXの支援

<人材育成> 担い手確保

■ 企業ニーズに沿ったリスクリングの支援

5 大学等との連携による人材の育成・定着

<大学連携> 若者・女性

■ 学生の実践型学修への支援等による人材育成、県内定着促進



■ 就職先の拡大や就職相談等の強化による県内就職の促進（看護科学大学）

■ 学生提案によるインターンシップや企業が個別に開催する学内就職説明会など、地域企業と連携した県内就職の促進（工科短期大学校）

6 DXの推進や先端技術の活用による新産業の育成と地域課題の解決

<DX> 持続的発展

■ データに基づく経営変革や業務の効率化、デジタル人材の確保・育成等に取り組む事業者支援、県内商工団体等と連携した伴走支援

<先端技術> 持続的発展

■ ドローンのさらなる社会実装の促進



■ 宇宙港の実現可能性調査の実施や宇宙関連産業への参入支援

政策体系Ⅲ 【まち】暮らしの豊かさを実感でき、魅力的な地域であふれるおおいた

基本的方向

災害に強い県土づくりや、温泉や自然などの豊かな資源を活かした取り組み、デジタルを活用したDXの推進等により、人口減少下においても、住み慣れた地域に住み続けたいという住民の思いを叶える地域づくりを進めることで、県民誰もが豊かで便利な暮らしを実感でき、愛着や魅力を感じるおおいたを目指します。

数値目標

- 地域活力づくり取組件数 令和11年度目標 120件
- ネットワーク・コミュニティ構成集落数 令和11年度目標 2,314件

主な取組の例

1 災害に強い県土づくりと危機管理の強化

<強靱な県土> 持続的発展

- 流域のあらゆる関係者と協働する流域治水や土砂災害対策の推進
- 建築物の耐震化への支援



自主防災組織による避難訓練

<防災> 持続的発展

- ドローン等を活用した物資輸送体制の充実
- 地域で行う避難訓練への支援

<感染症> 持続的発展

- 保健所の感染症対応力の強化

4 持続可能な環境づくりの推進

<脱炭素・GX> 持続的発展

- 新たな県民運動「グリーンアップおおいた」の展開
- 省エネ・再エネ設備の導入促進
- グリーン水素の製造や利活用の実証支援



水素ステーションと燃料電池自動車

<資源循環> 持続的発展

- 循環経済の実現に向けた社会実装化支援など資源循環関連産業の育成

<自然活用> 持続的発展

- エコパークなど豊かな自然を活かした新たな魅力の創出

2 魅力ある持続可能な地域づくりの推進

<コミュニティ> 担い手確保 持続的発展

- 地域おこし協力隊全国トップクラスの定着率維持
- 事業者と連携した生活基盤維持モデルの創出や持続可能な地域づくりの推進



コミュニティビジネス(駅を活用した飲食イベント)

<地域交通> 持続的発展

- 駅などの交通拠点の乗継利便性の向上
- 地域交通等を担うドライバーの確保対策

<DX> 持続的発展

- オンライン診療の推進等による診断・治療の利便性向上

5 誰もが安全・安心に暮らせる社会づくり

<治安> 持続的発展

- 良好な治安を確保するための取組の推進

<県民生活> 持続的発展

- 学齢期から高齢期までライフステージごとの相談内容の傾向に応じた消費者教育・啓発の推進



高校生を対象とした消費生活啓発講座

- 多様な主体と連携した子ども向け講座など食育の充実

3 互いに支え合う社会の構築

<地域共生社会> 持続的発展

- 地域の複合的な課題等を包括的に受け止める相談支援体制づくり、相談支援機関相互の連携を図る人材の育成



専門家(運営アドバイザー)による支援

<NPO協働> 担い手確保

- 活動拡大を目指すNPOへの伴走支援や協働事例の発信強化

- 災害時の更なる協働に向けた体制強化

6 芸術文化やスポーツの振興による地域の元気づくり

<芸術文化> 担い手確保

- 県立美術館(OPAM)10周年を記念したイベントの実施
- 大型イベント等を契機とした障がい者芸術展の開催や魅力発信強化



ハンガリー・アメリカ女子水球代表の県内合宿

<スポーツ> 担い手確保

- 子育て・働く世代におけるスポーツ実施機会の拡充
- 競技やスポーツ施設の専門家等を活用した合宿誘致の強化

政策体系IV 【ひとやものの流れ】新しい人や物の流れが広がり、つながるおおいた

基本的方向

広域交通ネットワークの充実により、新しい人や物の流れが広がる環境を整えるとともに、インバウンドなどの観光誘客や移住・定住の推進により好循環を生み出し、暮らしやすく県内外から選ばれるおおいたを目指します。

数値目標

- 社会増 令和11年度目標 +1,500人
- 高規格道路の整備延長
 - 高速自動車国道を除く高規格道路 令和11年度目標 93km
 - 東九州自動車道4車線化 令和11年度目標 67km

主な取組の例

1 未来へつながる広域交通ネットワークの充実

- <広域交通ネットワーク> **若者・女性** **持続的発展**
- 中九州横断道路、中津日田道路、庄の原佐野線、東九州自動車道4車線化の整備促進
 - 東九州新幹線等の整備計画路線格上げに向けた働きかけの強化や機運醸成
 - 豊予海峡ルートの実現に向けた関係県等との連携強化
 - 別府港フェリーターミナルや大分港RORO船、コンテナターミナルの整備促進



九州・四国広域交通ネットワークシンポジウム

2 移住・定住の促進による地域の未来を担う人材の確保

- <移住・定住> **若者・女性**
- 企業と連携した移住支援情報の発信
 - 若年層をターゲットとしたキャリア相談や就職先の紹介など、伴走型の就職・転職支援
 - 都市圏の企業等と連携した遠隔勤務、フィールドワークなど体験機会の充実



ワーケーション体験プログラム

3 企業立地・産業集積の促進

- <企業誘致・産業集積> **若者・女性** **担い手確保**
- DXやGXの加速に伴い国内投資が活況な自動車関連(EV関連等)、半導体、蓄電池関連企業等の誘致
 - デジタルコンテンツ産業の振興や地域への誘致強化
 - 医療機器産業や農業、先端技術分野など、企業のおおいたへの参入支援



中津市の半導体企業

4 様々な産業における国内外の販路開拓・拡大の支援

- <農林水産業> **担い手確保** **持続的発展**
- 販路開拓や輸出促進など需要に応じた販売チャネルの構築
 - ものづくり産業 > **担い手確保** **持続的発展**
 - 大学や医療機関、介護事業所、企業が一体となったIoT・AI等を含めた製品開発や国内外の販路開拓支援
 - 海外展開 > **担い手確保** **持続的発展**
 - 留学生やその卒業生・海外県人会等と連携した海外ネットワークの拡大



上海市での県産品展示商談会

5 地域の特色を活かしたツーリズムの推進と観光産業の振興

- <観光> **若者・女性**
- 大阪・関西万博や宇佐神宮御鎮座1300年を好機とした誘客促進
 - ユネスコエコパーク、日本ジオパーク、くじゅう連山など雄大な自然を活用したアドベンチャーツーリズム等の推進
 - 自動精算システム導入やデータ分析などDXの支援



藍染め体験

6 外国人に選ばれ、共生できる大分県づくり

- <外国人材> **担い手確保**
- おおいた留学生ビジネスセンター(SPARKLE)を拠点とした留学生の県内就職・起業支援の充実による県内定着の推進
 - 外国人支援団体等と連携した多文化共生モデルの構築・活用
 - 外国人の生活実態やニーズの多様化に対応した取組の強化



県内企業向け外国人雇用リーフレット

	ご意見	最終案への反映内容
重点課題	<ul style="list-style-type: none"> 資料P88【戦略案P5】「人口減少の抑制に向けた若者・女性の呼び込みと定着」について、人口が減少していく中であっても経済や社会の活性化に向けて、若年層や女性の活躍が求められるということではないか？その観点から「人口減少の抑制に向けた」との文言は削除し「地域の更なる発展に向けた若者・女性の呼び込みと定着」としてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 「人口減少の抑制に向けた」を削除し、「キャリア形成や暮らしの満足度の向上による若者・女性の呼び込みと定着」に修正しました。
ひと	<p><教育></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料P91【戦略案P12】(2)①「ESD」の日本語表記を希望します。 →ESD（持続可能な開発のための教育） 	<ul style="list-style-type: none"> ESD（持続可能な開発のための教育）に修正しました。
暮らし	<p><基本的方向></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料P96【戦略案P21】の内容に異論はないが、特に若年層の流出防止を念頭においた「働きがいのある仕事が生まれる」ような産業構造や企業構成を想定したメリハリをつけた記載を。 	<ul style="list-style-type: none"> <基本的方向> 「多様で魅力的な企業の誘致に向けた立地基盤の整備や農林水産業の成長産業化、様々な分野における人材の確保及び人材の育成・定着等を進め、「稼ぐ」力や若者や女性にとって働きがいのある仕事が生まれるおおいたを目指します。」に修正しました。

第3期総合戦略(素案)に対するご意見の反映について

	ご意見	最終案への反映内容
暮らし	<p><中小企業></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料P97【戦略案P24】(2)①に以下の内容の追記の検討を。 「・一次産業と二次産業との結び付きを強化し相互好循環の創出と持続的な成長の支援」 「・一次産業・二次産業の産・学との連携強化によるGX・DX含む先端技術の導入・促進、資源開発および利活用施策の推進」 	<ul style="list-style-type: none"> 資料P97【戦略案P24】(2)①に以下の内容を追記しました。 「<u>・産業間を含めた産学官連携によるカーボンリサイクルの取組支援</u>」 「<u>・ものづくり産業の競争力強化に向けた先端技術の利活用等の促進</u>」
	<p><大学連携></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料P98【戦略案P26】(1)①に以下の内容の追記の検討を。 「・大学、高等専門学校、工業高校も含めた産学官との連携による製造業技術者やオペレーター、メンテナンス技術者の育成と技術・技能向上の支援・協力」 	<ul style="list-style-type: none"> 資料P98【戦略案P25】政策4「多様な人材が活躍できる環境づくりと産業を支える人づくり」(1)④「産業を支える人づくり」に「<u>・ものづくり関係の企業会や工業団体、学校現場等、産学官連携による技術者の確保・育成</u>」を追記しました。
暮らしの流れ	<p><観光></p> <ul style="list-style-type: none"> 資料P110【戦略案P49】(2)「①おんせん県ならではの地域資源を活かした滞在型観光の推進」を「①おんせん県～活かした滞在型・<u>体験型</u>観光の推進」としていかがでしょうか。特にインバウンドに関しては、そこでしか味わえないものを食べる、そこでしかできないことを体験するといった体験型を志向しています。記載された内容は全て体験型です。 	<ul style="list-style-type: none"> 「①おんせん県ならではの地域資源を活かした滞在型・<u>体験型</u>観光の推進」に修正しました。